

# 新春のあいさつ

議長

倉持 功



明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのこ  
とと、心からお喜び申し上げます。

昨年中は、町政発展のために多大なるご理解とご協力を賜り、議員一同深く感謝と御礼を申し上げます次第です。

さて、国の経済は、コロナ禍を乗り越え、雇用・所得環境が改善する中で緩やかに回復しているものの、エネルギー価格・物価高騰の影響を受け、依然として地域経済や国民生活は厳しい状況に置かれております。地方自治体では、このような厳しい状況の中で、新たな行政需要に適切に対応しつつ、地域のデジタル化や地方創生の推進、こども・子育て政策の強化や福祉・医療サービスの充実、防災・減災対策の推進などに、計画的・持続的に取組んで行くことが求められております。

こうした中、政府においては、「令和6年度税制改正大綱」が決定さ

れ、総合経済対策である国民一人あたり4万円の定額減税が実施されました。

当町におきましては昨年、物価高騰対策として、「低所得者支援給付金事業」を、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、住民税非課税となる世帯又は均等割のみ課税の世帯へ10万円の給付と、あわせて住民税非課税となる世帯又は均等割のみ課税の世帯へ子供加算として18歳以下の児童一人当たり5万円の給付を申請者に支給いたしました。

また、「誰もが生活の足に困らない町」を目指し、自動運転バス公道定常運行、高速バス路線の導入など行つてまいりましたが、更なる移動手段の充実を図るべく、公共交通空白地域の住民を対象に、買物や通院、子どもの部活動や塾などの送迎に活用できる「境町AIオンラインデマンドバス」の実証運行が開始されました。

近年、地球温暖化の進行による

気象状況の変化による猛暑、激甚化する自然災害大規模な台風や線状降水帯による豪雨被害が頻発化しております。町民の生命・財産を守るため、今後も誰一人取り残さない、住み続けられる街を目指し、取り組みに協力し、進めてまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

町民の代表である町議会といたしましては、執行機関と互いに切磋琢磨しながら、町づくりの主役は町民の皆様であることを第一に、住んでよかつたと思える町づくりの実現に向けて鋭意努力してまいります。

町民の皆様にとりまして、本年がより実りある飛躍の年となりますように心からご祈念申し上げますとともに、今後も一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。